

島根中央高校だより

ごあいさつ

新入生の皆さんは、学校や地域にだんだん慣れてきたと思います。入学式の呼名では、さすがしく気持ちの良い返事を聞くことができ、私自身も「頑張ろう!」という気持ちが湧いてきました。

今年度は、入学後最初の1週間で「学校を知る・地域を知る」ための時間割にしました。これから3年間、どんな場所で何を学んで自分はどう育っていくのか、イメージを持つことができたでしょうか。

「瞳を高く、明日への扉を開く。」

まちごと全体をキャンパスにして、一緒に成長していきましょう。



校長
立石 祥美

入学式

県内外48校の中学校から88名の新入生が入学しました。入学から1カ月経ち、今ではすっかり島根中央高校の一員です。校内がとても活気に溢れているように感じます。

1年1組

1年2組

1年3組



スタートアッププログラム始動!!



今年度から新入生対象の特別なオリエンテーションが実施されました!

新入生の3割以上が県外生です。新たな仲間と交流し、これから3年間過ごす地域を知ってもらいたい。そして、少しでも不安が解消され、ポジティブな気持ちで仲間とともにスタートできるように願いを込めて始まった、新しい試みです。

プログラム内容

- ・ 探究とカリキュラムの説明
- ・ 地域探索
- ・ あそラボ 町施策説明
- ・ 防災学習
- ・ 校歌練習 他



毎日慣れないことばかりで忙しいですが、スタートアッププログラムのおかげで全国各地から来た新しい友達もでき、楽しく高校生活を送っています。高校では、川本町をもっと盛り上げられるように、「かわもとあそラボ」での活動や地域活動に積極的に挑戦し、この学校でしかできない充実した3年間にしたいです。

1年 佐藤 柚奈(川本中出身)



スタートアッププログラムのおかげでたくさんの友達を作ることができました。新しい生活の第1歩としてとてもいいスタートがきれて良かったと思っています。そして新しく住む町を知ることができ、とても良い期間であり良い経験をさせてもらえました!

1年 塩田 京磨(神奈川県出身)



新聞部員は現在7人。今年も新入部員を2人迎えることができた。この部の活動の基礎は、川本町・美郷町を歩き、そこに暮らす人々の話に耳を傾けることである。この部は川本町出身者が2人、大田市出身が1人、それ以外は関東出身者である。彼らは川本町の現状をどのように見ているのか。「内」と「外」の両側面から語ってもらった。

【聞き手：新聞部顧問 岩成 俊策】

まちづくりの楽しさ

一川本町出身の2人は小学生のころからまちづくりの活動に参加してきたんだよね?どんなことしていたの?

佐藤 柚奈(以下佐藤) 私は町の観光協会が主催していた「ベンチャーキッズ」の活動に参加しました。

伊藤 咲来(以下伊藤) 私も参加しました。確か三江線が廃線になる前だから6年前。小学5年生くらいからです。地元の子どもの起業家精神を養うという目標で。あれは楽しかったよね。

佐藤 そうそう。例えば、私たちが開発したのは「しっとり転校生サンド」。ホワイトクリームに町特産品のエゴマを入れたお菓子です。

川越 椿生(以下川越) 「転校生」?名前の由来は?

佐藤 それは北海道の有名な「白い」あの子が転校してきたという設定で…。

伊藤 まあ「もじり」というか「尊敬」というか(笑)。子どもの自由な発想がそのまま生かされたのが面白かったです。高校生とか地域おこし協力隊の人たちに協力してもらってデザインやお菓子製作を手伝ってもらいました。

佐藤 「しっとり転校生サンド」は、道の駅で販売しました。それとクラウドファンディングを活用して100万円を集めて東京のアンテナショップで販売しました。

伊藤 それで千葉県の銚子市ともつながりができました。そこも銚子電鉄が廃線の危機で、特産品の「ぬれせんべい」を使ってその危機を乗り越えようとしていました。

佐藤 銚子市の人たちに教わって、「ぬれせんべい」を参考にした手焼きせんべいも開発しました。

伊藤 「ぬれせんべい」、最初は正直おいしいとは思わなかったけど、クセになるよね(笑)。

佐藤 そう!何度も食べると(笑)。そういえば「ベンチャーキッズ」の活動も、最初は廃線の危機にあった三江線を盛り上げようと、駅弁を開発するところがスタートだったはずですよ。

伊藤 そうそう、鴨肉とかエゴマを入れて…。銚子電鉄の方は「ぬれせんべい」で立ち直ったけど、三江線が無くなってしまったのはさみしかったなあ…。

佐藤 コロナ禍があって、「ベンチャーキッズ」の活動はしばらく休止していましたが、一昨年から再開しています。私も引き続き活動しようと思っています。子どもたちの自由な発想をまちづくりにフルに生かしていきたいです。



「内」と「外」の視点

一では、移住者から見ると、川本町はどんな風に見えてるんだろう…。

川越 県外生の立場から見ると、川本町の人とのつながりはとても新鮮です。僕は今、町内のある商店を調べていますが、ケガをした子どもたちが絆創膏を貼ってもらいにこの店に入ってきたり、買い物を終えた高齢の方の商品を、商店の人が車まで持ってあげたり…。こういう人と人とのつながりが見えることは、都会ではあまり無い気がします。

伊藤 そういえば、登下校で町を歩いてもみんな自分のことを認知してあいさつしてくれる。こんな関係って都会には無いのかも…。こういういいところをまちづくりに生かす方法があるのかもしれない。

一川本町出身の伊藤さんから見た地域の課題はどんなこと?

伊藤 それは…。交通手段が少なすぎることに!三江線も無いし、バスの便も少ない。登下校でのみ使う程度。私たちみたいな自宅生はまだいいけど、寮生はどうしているのか心配になります。

川越 買い物に行くのも(商業店舗の集まる)因原に歩いて行くしか手段がありません。C Pieces⁺(女子寮)からは歩いたら1時間程度かかります。若者を抱える町として何らかの対策をしてほしいです。

佐藤 (デマンド型乗合タクシー)「まげなタクシー」を応用する手もあると思いますが、高校生には値段設定が高すぎるかも…。高校生の声を直接まちづくりに生かすのも、新聞部の重要な役割なのではないでしょうか。

カヌー日本代表 決定!

●アジアパシフィックスプリントカップ(5/4~13)オーストラリア ペンリス

3年 吉村 颯人(福井県出身)、日本体育大 松本 貢輝 プライアン(卒業生)

●世界カヌースプリントジュニア選手権大会(7/13~24)

ブルガリア共和国 プロブディフ

3年 藤倉 萌(羽須美中出身)、3年 児島 生知(邑智中出身)、

3年 河野 文晃(愛知県出身)、3年 河野 賢晃(愛知県出身)

●オリンピックホープス(9/1~11)ハンガリー スコロ

3年 児島 生知(邑智中出身)、1年 上野 有象(滋賀県出身)



第25回記念全国高等学校女子硬式野球選抜大会 結果

(3/22) [1回戦] 島根中央 5-10 駒沢学園女子



島根県立島根中央高等学校

〒696-0001 島根県邑智郡川本町大字川本 222 番地 TEL: 0855-72-0355(代表)
E-mail: shimanechuo-hs@edu.pref.shimane.jp FAX: 0855-72-0388
HP: https://www.shimane-chuo.ed.jp/



公式Instagramで発信中!

高校の日常をより多くの方々に届けたいと思い、これまでのFacebookに加え、Instagramでも発信しています。皆さん、ぜひフォローしてください!

